

# 審 査 講 評

## 第83回大分県畜産共進会 肉牛の部（令和4年10月1日）

第83回大分県畜産共進会、肉牛の部の審査が皆様のご協力により無事終了したことに對しまして、審査委員を代表して心からお礼を申し上げます。

枝肉の審査につきましては、（公社）日本食肉格付協会の牛枝肉取引規格を基準として行いました。

まず、黒毛和種ですが40頭の出品がありました。3頭は枝肉重量が基準に達していなかったため参考出品となり、計37頭で審査いたしました。

37頭の枝肉格付けの平均値は、A率100%、枝肉重量523.9kg、ロース芯面積72.5cm<sup>2</sup>、バラ厚8.8cm、皮下脂肪厚2.3cmでした。

昨年に比べ、A率、バラ厚、皮下脂肪厚で成績が向上しています。

次に肉質ですが、4・5率は97.3%、BMSNo.の平均は9.2でした。これは昨年の8.6に比べ、0.6ポイント向上していました。

今年度より、「脂肪の質」を評価する新たな賞が設けられましたが、美味しさの指標の1つとされるオレイン酸含有率の平均は53.7%でした。

この中から、最優秀賞首席は出品番号6号の宇佐市、(株)浦田牧場さんに決定しました。

成績については、ロース芯面積は88cm<sup>2</sup>、バラ厚9.6cm、皮下脂肪厚1.6cm、BMSNo.12でした。サシは小ザシで全体的に入っており、歩留まりも79.3%と優れた枝肉でした。枝肉全体のバランスも良く、脂肪の質を含め総合的に高い評価をしています。

以上のことから、最優秀賞首席とさせていただきました。

また、出品番号1番は、首席に劣らず、枝肉重量、BMSNo.ロース芯も大きく、素晴らしい枝肉でありましたが、全国和牛能力共進会においても脂肪の

質が重視されていることから、オレイン酸数値の差で 2 席とさせていただきますました。

次に、2区の交雑種去勢牛は 10 頭の出品でした。

10 頭の平均値は、枝肉重量 556kg、ロース芯面積 59.4cm<sup>2</sup>、バラ厚 8.1cm、皮下脂肪厚 2.6cm、BMS No.4.7 であり、ロース芯面積とバラ厚、皮下脂肪厚で改善が見られました。

そうした中で、今回の最優秀賞首席は、出品番号 48 号の中津市、古田牧場さんに決定いたしました。

この枝肉は枝肉重量 610kg、ロース芯面積 83cm<sup>2</sup>、バラ厚 8.3cm、皮下脂肪厚 1.6cm、BMSNo.7 でした。

今回の出品牛の中では BMSNo.は最高値で、枝肉重量もトップクラスであり、ロース芯面積も 83 cm<sup>2</sup>と迫力のある枝ぶりでありました。肉質においても、和牛と遜色ない質を有していました。

以上のことから、最優秀賞首席とさせていただきますました。

また、今回から新設された脂肪の質賞ですが、出品番号 37 号の杵築市、阿部竜一さんに決定しました。オレイン酸数値は 57.2 であり、出品牛のなかで最高値でありました。

昨年に比べまして、黒毛和種では、BMSNo.バラ厚、皮下脂肪厚、歩留まりで改善が見られました。肉質の向上はもちろんですが、流通段階では歩留まり、枝ぶりの良さがより重要視されておりますので、今後とも一層の技術向上に努めていただきますようお願いして審査講評といたします。

令和 4 年 10 月 1 日

第 83 回大分県畜産共進会肉牛の部

審査委員長 梅木 英伸

# 審 査 講 評

第83回大分県畜産共進会  
肉用牛の部（令和4年10月25日）

特別賞審査について審査講評をさせていただきます。

農林水産大臣賞には、第3区若雌の3に出品いただいた20号牛、竹田市 見崎博憲さん出品の「ふくまさ1の1」に決定いたしました。この牛については、発育良好で体積に富み、体の伸び・深み・幅とバランスが良く、特に後方から見た中軀の張り、加えて背腰の強さについても評価させていただきました。また、種牛性については、肩の付着、骨締りが良好であることに加え、背の強さから感じる強健性を備えており、輪郭鮮明で非常に若雌らしい活力と品位を感じる牛でありました。以上のことから、農林水産大臣賞とさせていただきます。

さらに、20号牛については、体積が非常に優れているながら、雌牛らしい品位をもち、種牛性にも富んでいる点を評価し、あわせて部位賞として品位賞を選定させていただいております。

次に、九州農政局長賞には、第4区若雌の4に出品いただいた29号牛、由布市 河野浩二さん出品の「ひめな」に決定いたしま

した。この牛については、20号牛と比べても遜色ない体積を持ち、資質についても優れておりました。特に、前中軀が優れておりました。若干、骨締りや後方からの仙骨の状態において、20号牛の方が優れていると判断したため、九州農政局長賞とさせていただきました。この牛も種牛性が高く、体積に富んだ牛であり、若雌の素養が感じられ将来が楽しみな牛でありました。

以上で審査講評とさせていただきます。

本日はありがとうございました。

令和4年10月25日

第83回大分県畜産共進会 肉用牛の部

審査委員長 梅木 英伸